

平成 24 年度 第 1 回 松阪市環境審議会 議事録

日 時 : 平成 25 年 2 月 14 日 (木) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 40 分

場 所 : 松阪市役所第 2 分館 2 階教育委員会室

出席者 : 17 名

審議会委員 11 名

富田靖男 (会長)、門暉代司 (副会長)、鈴木宏武、須藤弘、
竹内英樹、中村陽子、野田宰治、福田昭、前田多香子、
牧戸継右、山本清巳

事務局 4 名

磯田環境部長、武田環境課長、
山口環境推進担当主幹兼環境推進係長、環境推進係 (垣本)

〈議 事〉

1. 平成 23 年度における松阪市環境基本計画重点事業の年度評価及び環境目標の進捗状況について

2. 平成 24 年度における松阪市環境基本計画重点事業について

・事務局より、上記について説明。

会長 : 事務局の説明に対して、ご意見や質問等をお願いします。

委員 : 公共下水道事業について、目標に対して大幅な達成率となっているが、これは目標設定が低いのではないのか？

事務局 : 下水道接続の目標件数は、今までの実績や下水道供用開始面積等から設定している。

委員 : P34 の総合運動公園はどこにあるのか？

事務局 : 現在、山下町にて建設中である。

委員 : 旧松阪市内での下水道接続工事に対して、市から補助金等はあるのか？

事務局 : 低所得者対象に補助金がある。

委員 : 所得制限を設けるのはわかるが、下水道接続率 100% を目指す努力が必要である。

事務局 : 高齢者世帯の増加、市内における過疎化、下水道接続の負担金が宅地面積に比例するための資金不足等があるが、担当部署は努力している。

委員：それらは今後の課題とすべきである。また、都市公園面積だが、地域間格差についての解決法はどのように考えているのか？1人あたりの都市公園面積の数値は？

事務局：1人あたりの公園面積だが、最初の目標数値は国の指針を基に設定したため現実的ではなかった。そこで、今回は現実に即した数値に置き換えた。

事務局：緑地帯などの面積を入れればかなりの数値が望めるが、公園だけを考えるとどうしても低い数値になる。

委員：行政が管理できる公園だけを対象にしたと考えればいいのか？

事務局：はい。

委員：旧松阪市内と他の地域とでは公園に対する感覚が異なるので、そのあたりの地域間格差については対応を検討してほしい。

委員：下水道の件だが、広報等のPRでは下水道料金のことばかり掲載しており、実際に公共下水道に排水を繋いだ時の環境へのメリットがわからない。いかに環境が良くなるのかを可視化すべきなのではないか？

事務局：下水道料金などの目先のことばかりを取り上げるだけでなく、接続することでいかに河川が綺麗になるのかをPRするなど、環境の中での理解を求めていくように検討していく。

委員：P28～31の事業は目標設定が低すぎる。このような報告書を作成するにあたって、他の書物を参考にしたことはあるのか？

事務局：市民に対しては、もう少し精査して読みやすくしていく方向である。

委員：「環境基本計画」以降、このような書物を発行していないのでは？

事務局：本書と概要版を発行したあと、「中間見直し版」を出している。

委員：例えば、下水道料金一つをとっても、なぜこんなに料金が高いのか市民にはわからない。その料金がどのように使われているのかを市民に対してわかりやすくすること、行政は「見える化」、「可視化」に努力してすることが必要なのではないと思う。

委員：浄化施設の見学会などを開いて、市民に理解を求めることが大事だと思う。

委員：小学校では見学会を行なっている。

委員：親に対してこそ必要である。

副会長：この冊子は誰でも手に入るのか？

事務局：情報公開室、各施設、地域振興局等で閲覧できる。また、HP 上でのダウンロードも可能。

会長：P41 で、BOD の数値が高くなった原因の特定に努力すべきである。また、P45 のグラフだが、基準年度の年気候や平均気温なども出す必要がある。気候により数値に変動があるので、その情報は載せるべきである。

委員：新しい清掃工場の見学会などは行っているのか？

事務局：新しい清掃工場はまだ造成工事が終わったばかりで、来月からプラント工事に着工する状況である。今の第二清掃工場は見学会を行っているが、見学通路が無いので危険な場所が多く、見る事が出来ない箇所が多々ある。今度の工場は様々な処理の様子が見学出来る通路を設け、また、建設途中も見学できるようにするなど、市民に対してオープンな工場を目指している。行政は市民に対して情報を提示する義務があるので、こういった方向で建設を進めている。

委員：P41 の BOD 数値は注視するだけでいいのか？

委員：天候や水量が関係しているのではないかと思う。P44・45 の人口が異なるのはなぜか？数値が操作されていると思われるのでは？

事務局：住民基本台帳、国勢調査、推定人口などで変わってくるが、確認する。

事務局：人口の出典を明らかにする。

委員：松阪市ではクリーンエネルギーに対する補助金はないのか？

事務局：補助金制度は無い。

委員：P33 の都市景観だが、これにも地域間格差が出てくると思う。伊勢中川駅周辺

の整備はどうなっているのか？また、海上風力発電の予定はないのか？

事務局： 歴史文化遺産の保護活用に関する予定はあるが、駅前整備については聞いていないのでわからない。海上風力発電は漁業権の問題などもあり、現実的にはまだ無い。山の方の風力発電は、地元住民の理解や環境保全の問題、低周波の影響などがクリアできないと進まないため、現在は事業者が検討中だと思われる。

会長： 平成 24 年度重点事業についてはどうか。

委員： ネコギギシンポジウムはもう終わったのか？

事務局： 8 月に嬉野ふるさと会館にて開催した。

委員： 松阪市に観光客を増やすような努力をするべきである。

事務局： 観光客誘致に関しては担当部署が努力している。環境面からは環境保全という観点から、他の部署とタイアップして進めている。

3. 平成 24 年度における松阪市環境パートナーシップ会議の活動報告

・事務局より説明

委員： 今年で 5 年目にしては、事業者に比べて市民の会員数が少ない。このパートナーシップ会議が松阪市の環境活動母体であるならば、今後の発展のためにも市民や市民団体が増加するように努力してほしい。

事務局： 今年度はその方向で進めている。

4. その他

委員： 審議会の開催が遅すぎる。この会議で出された意見は、24 年度にも 25 年度にも反映されない。出来れば次年度の予算要求の前に開催してほしい。

事務局： 来年度は予算に反映出来る時期に開催する。また、今回の皆さんの意見をまとめたものは、もう一度会議の場を持つのか、会長・副会長に一任するのか、どちらにしたほうがいいのか？

委員全員： 一任でお願いします。

事務局： では、会長・副会長に一任する。

会長： 他に無いようなので、今日はこれで終わります。